

- 問1 欧米列強のアジア進出に対抗するため、日本が掲げた国家目標である、経済力と軍事力を強化する政策を何という？
- 問2 明治政府が欧米の制度を視察し、不平等条約の改正交渉を行うために派遣した使節団を何という？
- 問3 アメリカへの留学を経験し、帰国後に女子英学塾を設立するなど、日本の女子教育の普及と向上に力を尽くした人物は誰？
- 問4 日清戦争の賠償金などを活用して建設された、福岡県の官営製鉄所を何という？
- 問5 1889年に発布された、アジアで初めての近代的な憲法を何という？
- 問6 岩倉使節団が欧米へ派遣された主な目的の一つである、幕末に結ばれた条約の改正を目指す相手先は何という？
- 問7 日英同盟を背景に、日本が朝鮮半島と満州の支配権をめぐって1904年から1905年にかけて行った戦争を何という？
- 問8 足尾銅山の鉱毒被害に対し、国会で何度も政府を追及し、被害住民のために一生をささげた人物を誰という？
- 問9 学制の公布により、身分や性別に関わらず教育を受けられる対象とされたのは誰？
- 問10 明治時代に、銅山の鉱毒によって流域の農作物や住民に甚大な被害を与えた事件を何という？
- 問11 鹿鳴館において、外務卿として中心となって領事裁判権の撤廃を目指す条約改正交渉を進めた人物は誰？
- 問12 足尾銅山鉱毒事件の被害救済のために尽力し、帝国議会で政府を追及した人物が持っていた職業の肩書は何という？
- 問13 足尾銅山鉱毒事件において、政府に対し解決を求めて国会で訴え続けた政治家は誰？
- 問14 明治時代に、日本の伝統的な美術を継承し、新しい芸術を育てるために設立された学校を何という？
- 問15 八幡製鉄所などが発展を支えた、鉄鋼や機械などを作る大きな産業分野を何という？
- 問16 武力による政治改革の試みである士族の反乱が鎮圧された後、言論を重んじる政治へと転換した運動を何という？
- 問17 紡績業の発展により、輸入した原料を加工して製品として輸出する貿易形態を確立するために必要となった、輸入原料を何という？
- 問18 明治時代、日本の重工業発展を支える石炭の主要な産地となった福岡県の地域を何という？
- 問19 日清戦争の賠償金を元手に、日本の重工業発展の基礎として1901年に建設された製鉄所を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 富国強兵	明治政府は「富国強兵」を掲げ、近代的な産業を育成して経済力を高めるとともに、徴兵令を制定するなどして強固な軍隊を整備しました。
問2	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を特命全権大使として、木戸孝允や大久保利通ら政府の主要メンバーが欧米へ派遣されました。彼らはアメリカやヨーロッパ諸国を巡り、進んだ産業や政治制度を学びましたが、条約改正の交渉は相手国の理解を得られず失敗に終わりました。
問3	答え 津田梅子	津田梅子は6歳で岩倉使節団に随行して渡米し、11年間の留学生活を送りました。帰国後はその経験を活かし、現在の津田塾大学の前身となる女子英学塾を創設しました。女子教育の先駆者として、女性の自立と知的発展を強く願い、当時の家庭中心の女性観に風穴を開けました。
問4	答え 八幡製鉄所	1901年に福岡県北九州市に操業を開始したのが八幡製鉄所です。当時の最新技術を導入し、日本国内で自給自足の鉄鋼生産を行うことを目的としました。これにより、日本の軍事力や産業を大きく向上させました。
問5	答え 大日本帝国憲法	1889年2月11日に発布されたこの憲法は、天皇を国家の元首とし、立法・行政・司法の権利を天皇が持つと定めました。同時に、議会（帝国議会）の開設を規定し、国民にも一定の権利が認められました。これにより日本は近代的な立憲国家としての体裁を整えました。
問6	答え 不平等条約	岩倉使節団は、岩倉具視を特命全権大使として欧米各国に派遣され、近代的な制度を調査するとともに、最大の目標として不平等条約の改正交渉を行いました。しかし、相手国から法制度の未整備を理由に断られ、改正はすぐには実現しませんでした。
問7	答え 日露戦争	日英同盟を背後に、日本は陸軍と海軍を総動員してロシア軍と戦いました。激しい戦いの末、日本は講和条約を結んで満州からロシアを撤退させることに成功しました。
問8	答え 田中正造	田中正造は衆議院議員として、この問題がいかに深刻かを政府や議会で繰り返し訴えました。議員を辞職してまで天皇に直訴しようとするなど、その活動は非常に情熱的でした。
問9	答え 国民	1872年の学制公布により、社会のすべての人々、すなわち「国民」に対して小学校への就学が義務付けられるようになりました。これは、日本が近代国家として平等な教育機会を保障し始めた大きな一歩でした。
問10	答え 足尾銅山鉱毒事件	足尾銅山から排出された鉱毒（煙や廃水）が、周辺の山林を枯らし、渡良瀬川に流れ込んで農地を汚染しました。これにより流域の農作物が育たなくなり、住民の健康被害も発生する深刻な公害問題となりました。
問11	答え 井上馨	井上馨は、外務卿として条約改正交渉を主導しました。鹿鳴館に外交官らを招いてパーティーを開き、日本の文化が西洋と対等であることを示そうとしました。
問12	答え 衆議院議員	田中正造は「衆議院議員」として、当時の政府に対して足尾銅山の鉱毒被害の深刻さを繰り返し訴えました。国会の壇上から政府の責任を強く追及する彼の姿は、社会に大きな衝撃を与えました。
問13	答え 田中正造	田中正造は、自らも農民とともに現地を調査し、国会で何度も被害の実態を訴えました。政府が十分な対応をしないことに絶望した彼は、ついに議員を辞職し、天皇に直接訴える「直訴」という行動に出るほど、執念を持って問題解決に努めました。
問14	答え 東京美術学校	岡倉天心やアーネスト・フェノロサの協力のもと、1887年に東京美術学校が設立されました。ここでは日本の伝統的な日本画の技法を学びつつ、新しい時代の表現を模索する指導が行われました。
問15	答え 重工業	八幡製鉄所の操業は、造船や機械製造といった重工業を発展させる土台となりました。これまでの製糸や紡績などの軽工業から、大規模な設備と高い技術を必要とする産業への転換が図られたのです。
問16	答え 自由民権運動	板垣退助らが「国会開設の建白書」を提出したことをきっかけに全国へ広がりました。国民が政治に参加する「国会開設」や「憲法制定」を強く訴え、各地で演説会などが開かれました。
問17	答え 綿花	紡績業の発展により、インドや中国、アメリカなどから安価な綿花を大量に輸入し、国内の工場で綿糸へと加工しました。この加工貿易の形態が確立したことで、日本は繊維立国として国際競争力を強めることができました。
問18	答え 筑豊炭田	筑豊炭田は、福岡県の飯塚市や直方市を中心とする地域に広がる炭田地帯です。産出量の多さから日本の産業革命を燃料の面で支え、近くにある八幡製鉄所などへ石炭を供給する重要な拠点となりました。
問19	答え 八幡製鉄所	日清戦争の賠償金を建設費用に充てて、1901年に福岡県に設立されたのが八幡製鉄所です。日本初の本格的な製鉄所として、鉄鋼の生産能力を飛躍的に向上させました。